科目ナンバリング	U-LAS40 20009 LJ26						
授業科目名 <英訳>	精神保健福祉概論 Mental Health and Welfare			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　船曳　康子		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	火4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

近年、様々な社会場面において、うつ病、不登校、発達障害、ひきこもりなどこころの問題が次々に社会問題として取り上げられ、メンタルヘルスの重要性が指摘されています。このこころの健康の問題は、さらには、虐待、いじめ、ハラスメント、自殺などの問題とも関連し、取り組むべき喫緊の課題となっています。また、科学技術の進歩や感染症対策ともあいまって、生活様式も変化しており、その変化がこころに与える影響も無視できません。

それらの課題を解決していくには、専門家に限らず、より多くの人や立場からの理解が欠かせず、その上で、時々刻々と変化する社会的なニーズに見合った制度設計が必要です。

本授業においては、どのような進路に進む方にも必要なこころの健康を維持するための基本知識と、時々刻々と更新されていく社会的取り組みや制度について背景から解説します。また、これらを通して、自身や周囲のメンタルヘルスの維持に加え、学校や職場や家族という単位でも役立つ知識の提供と、当該分野における意識を深めることを目的としています。

[到達目標]

実社会におけるこころの分野の施策は、現状を踏まえながら、時々刻々と更新されていきます。その実情についていきながら、自身や周囲の今後に役立てる知識を習得します。さらに、社会情勢に合わせて必要となる課題を意識する力を養い、それに対処または解決する方向性について考える土台を作ることを目標としています。

[授業計画と内容]

以下の内容についてそれぞれ1～2週に分けて、授業を行います。
リアルタイムな話題が生じた際には、そのテーマについて取り上げます。

1.授業の概要説明と精神保健福祉とは
2.いじめ、ひきこもりの課題と対策
3.学校における精神保健
4.虐待／児童・高齢者・障害者
5.神経発達症者に対する取り組み：発達障害者支援法とこれから
6.職場における精神保健
7.保健医療分野における取り組み
8.司法・犯罪分野における制度
9.地域生活支援（支援機関、自助活動）
10.災害時のこころの支援
11.支援者のメンタルヘルス
12,13.レポート作成、まとめ
14.意見交換
15.フィードバック

精神保健福祉概論(2)へ続く↓↓↓

精神保健福祉概論(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（授業への参加状況）(60)、授業内容に沿ったレポート(40)により評価

[教科書]

授業に使用するスライドをKULASISに掲載

[参考書等]

（参考書）
船曳康子 『MSPA(発達障害の要支援度評価尺度)の理解と活用』（勁草書房）
精神保健福祉白書編集委員会 『精神保健福祉白書』（中央法規）

[授業外学修（予習・復習）等]

関連する時事問題に目を通して、問題意識をもって考察しておくと、理解が深まります。

[その他（オフィスアワー等）]

[実務経験のある教員による授業]

①分類
実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

②当該授業科目に関連した実務経験の内容
医師（精神科医・内科医）としての診療従事、行政・地域福祉・学校現場と連携した社会的支援の実務（公認心理師取得）

③実務経験を活かした実践的な授業の内容
教科書やメディア情報からは得られない、精神科医としての実臨床や地域連携における実体験に基づいた解説を追加します。

[主要授業科目（学部・学科名）]